

東京都江戸川区に溶接技術の学び舎「宮本溶接塾」が2年前にオープンし、初心者から現場の線で活躍する職人まで、老若男女の幅広い顔ぶれが研さんを積んでいる。教室となる空間は、塾を運営するクリエイティブワークスの宮本卓代表が物心ついた頃から慣れ親しむ町工場。溶接加工の仕事に従事する傍ら、指導や啓もつに当たる宮本代表に活動の成果や今後の展開を聞いた。

(中野 裕介)

「2018年の終わりに宮本溶接塾を立ち上げたから3年目に入った。」

「広く世の中で不足する溶接の職人を育成し、『人材の獲得が難しい中小企業をはじめとする製造業に貢献したり、会社がない仕事や新しい材料をやってみようといった、職人がステップアップできる場所を提供したりできれば』との思いで始めたが、受講者に応じて溶接に関する基礎知識の学習や溶接機の取り扱い、基

“溶接塾”に幅広い顔ぶれ、段階ごとに指導



ちょっと触れるところから本格的な技術習得まで多彩なニーズに対応

本動作の習得などに取り組むうち『DIY』や『趣味』というところに気づいた。2年目の去年からは溶接科の講師を務

接に興味をお持ちの方にも門戸を広げて、工場ワークショップを企画している。時間の経過とともにニーズを把握できるようになり、着実にステップを踏んで前に進む中、今年も『職人ほどではないけれど』という方向けのメニューを強化して、ちょっと溶接に触れるところから、段階を踏んで本格的に技術を習得できるレベルまで複層的にきめ細かく捕捉していければと考えている。

「溶接は個人向けと合わせて、企業向けにも対応している。」

「これまでに個人のコースでは7人が卒業し、現在4人が受講しているのに対し、企業では10社程度へ出張講座にうかがった。私自身、都内の職業能力開発センターで溶接科の講師を務



クリエイティブワークス 宮本 卓代表

個人・企業向け、オンライン授業も検討

「溶接塾ではスタッフ一同『われわれは人がいらっしやるどころに行こう』と心がけている。溶接にはTIGや半自動などいくつかの方法があり、希望する指導内容に応じて最適な講師を選定し、全国各地に出向かせて頂いている。もっとも遠方だと講習後に行き来が難しいケースがあり、現地に行かなくてもアフターケアができるようにオンラインでのフォローアップを構想してきた。」

「新たな時代に即したサービスが求められる今、リモートをめぐるニーズは相応にありそう。現在の進捗はどうか。」

「溶接塾のツールとして進めてきた開発が、一気に加速したような感じだ。溶接時に装着するかぶり面にカメラを取り付け、作業の様子をリアルタイムで共有するなどして昨年スタッフがリモートワークに挑戦したのがきっかけとなり、普段一緒に仕事をして取れているコミュニケーションがオンラインになっても支障がないことを体験できた。」

この人にこのテーマ

人材の獲得、育成に貢献

「現在はクリエイティブワークスが都内の金属加工会社と協働するプロジェクト『東京町工場ものづくりのワラ』を通じて、Web上で質問を受けた時に滞りなく回答できるかをはじめ、オンラインでの意思疎通が可能かを検証している。個人では自宅に溶接機を持っていらっしゃる方限定にはなるが、Web会議サービスを活用した授業や講座のサービスを提供する方向で考えている。IoT(モノのインターネット)の観点では、一連のプロジェク

「教える」「広げる」をモットーとする塾ならではの活動が目白押し。今、ますますリアル、バーチャルの双方で溶接とコネクションをもつ人材が増えそうだ。昨年からは工場での体験会からさらに幅を広げ、カフェとコラボレーションした『溶接カフェ』を展開している。身近にある溶接をもっと親しんでもらいたいとの思いと、個人的に好きなコーヒーを組み合わせたところから着想した取り組みだ。」

「SNSなどでの告知を見て来て下さったり、気軽にカフェに寄って『溶接って何だろう?』と興味をもつ

カフェとコラボ「もっと親しんで」



門戸広げ、ものづくりの喜びを感じてもらおう (Facebookより引用)

て体験して頂いたりと動機も帰宅して家族でお見せにはなすまで、中には一人になった方もいらっしやうで通りがかった後にいった。溶接カフェでは100

人ぐらの方に溶接を体験することで、職人の中で生じてもらい、このうち女性が多い技術的な差異も解決やお子さん半分ぐらに上った。工場でのイベントとは違った顔ぶれながら好評を頂いた。」

「溶接カフェやワークショップでは、体験を希望する人に教える講師も必要になってくる。卒業生一人ひとりが経験値を伸ばし、互いに信頼関係が醸成され、いろいろなタスクを活用しているが、歳月を重ねて塾の卒業生が一般の方に対応してもらえるようになれば、教える方も分かってくるに違いない。長い目で見れば、人材育成の一環で講師の予備軍を育てるべく、店舗や商店街、小学校などお声がけ頂けるといい。」

